

ふれあいが育くむ

まちのやさしさ

保原町はふれあいのまちです。数多くの地域団体やボランティアグループが、さまざまな活動を地道に続けてきています。子供たちに民話や昔話を語り聞かせたり、祭太鼓を教えたりして、地域において世代を超えた交流を深めています。また、障害を持った人達との相互交流も盛んです。

小学校の特別授業では、町民を先生として招き、子供たちはもの作りの技や園芸などを教わります。もともと人情の厚いまちである保原町の、こうしたふれあいが、まちのやさしさを育くみ、新時代のまちづくりの力となっています。



▲中学生たちの「赤ちゃんふれあい体験」



▲ほどはら授産所での交流



Hobara is a town with enormous human contact. From generations past people have always been very kind towards others and their warm heart is still present today. Volunteer groups form an integral part of the community as they give plenty of assistance to the elderly, the handicapped, and to youth education.

This warm human contact is a driving factor in creating a model town for the 21st century.